

2024(令和6)年度 エリザベト音楽大学事業計画

教職員の連携による教育の質保証の確立

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、慎重さをもちつつも教育ならびに演奏活動をコロナ禍前の状況に少しずつ戻しました。学生たちも様々な場で学修・活躍の機会に恵まれました。2022年度末から開始した創立75周年記念行事、関連事業もほぼ予定どおり無事開催できたことに感謝の念を深くするものです。

2022年度入学生から適用が開始された新カリキュラムについては、その運用にあたり常に改善を重ねています。新・旧カリキュラムともに、学生の豊かな学びの実現となるように実施します。これまでどおり、イエズス会教育理念及び行動標語「音楽をとおして私が変わり 世界を良くする人になる」に基づく大学教育の展開と円滑な運営に努めてまいります。

2024年度の事業計画にあたっては、新カリキュラムの完成年度を目指した教育課程の質向上に取り組むと同時に、学生募集及び広報活動を重点的に強化することについて、教職員が連携・協力して実行します。さらに2024年度に実施される外部認証評価に対して、教職員は一丸となって準備し、対応する所存です。

(1) 経営面の計画

1) 建学の精神、教育理念の実現のために

- ① 研修会・種々の行事他をとおしてイエズス会教育精神を学ぶ。
- ② 学生・教職員がアジアのイエズス会学校の状況を知り、慈善演奏会をとおして交流を行う。
- ③ カトリック大学連盟加盟大学との連携をとおして、建学の精神、教育理念の実現を目指す。

2) 大学教育、学生募集への取組

- ① 教員の研究成果の発表機会を増やし、学内外に幅広くアピールする。
- ② 大学の教育内容、学生の活動、教員の研究成果等について広く発信するとともに、多種多様な給付奨学金の広報に努め、学生募集活動に効果的に活用する。

3) 長期計画に沿った将来計画の策定

- ① 施設・設備補修計画に基づき年度毎の補修を実施する。
- ② 次期中期計画(5年)について、学内各所から意見を集約して、決定する。

4) 国際交流の推進

- ① 国際情勢の変化に留意して、国際交流事業、学生の留学支援、留学生の受け入れを

活性化させる。

5) 内部質保証体制の確立

- ① 第3期認証評価受審（2024年）のために提出する自己点検評価書及び付帯書類を完成させ、実地視察に備える。
- ② 内部質保証に向けた教学マネジメント体制を維持し、学修成果の可視化等全学的な課題の改善に取り組む。

(2) 教学面の計画

1) 教学改革について

〔音楽学部〕

- ① 1年次から3年次まで適用されている新カリキュラムの授業科目と履修プログラムを精査し、学生の卒業後の進路決定に資するものとなるように改善する。
- ② 「学部の3つの履修プログラム」及び「ソリスト奨学生」を念頭に入れ、学部と大学院との連携を深める。
- ③ 2025年度入学試験から試験内容等を大きく変更するが、年度中から検証を重ねる。
- ④ 学生の学修及び学生生活等のデータは、従来どおり担当部署が収集・分析し、教学の会議と情報を共有し、大学運営及び広報活動に活用する。
- ⑤ 教職課程委員会は教職課程自己点検評価に関する最新情報を入手し、継続して行う。

《音楽文化学科》

- ① 新カリキュラムの履修プログラム制を点検し、段階的な学びを構築する。
- ② 入学志願者増へつながる体制を強化するために、各専修の学びの魅力を学外に幅広くアピールする機会を積極的に設ける。
- ③ 学生と社会の変化、留学生・社会人等の受け入れ枠の拡大を標榜したカリキュラム・授業内容の検討を行う。
- ④ 幼児、親子を対象とした社会貢献活動として、音楽を楽しむ場を引き続き提供する。
- ⑤ ICTを教育活動に積極的に活用する。

《演奏学科》

- ① 3年目となる実技学修システム及び履修プログラムの円滑な稼働と検証を行う。
- ② 実技試験（定期試験・入学試験）における審査の観点を整える。
- ③ 学内での演奏会のみならず、地域貢献活動としての学外での演奏に際しても、学生が円滑に参加できるための支援を、教員は協力して取り組む。

[大学院]

- ① オンライン等による留学生入学試験を行い、海外からの留学生を増やす。
- ② 大学院カリキュラム改訂に向けて、現行カリキュラム下での試行的取組を行い、その効果、課題について検討する。
- ③ 修士課程、博士後期課程ともに、学内外双方からの進学者増につなげるべく、近年の学生の実像を検討し、現行の入学試験課題、実施方法について見直しを行う。
- ④ 著名な演奏家や研究者などを招き、公開講座あるいは公開レッスンを実施する。

2) 学生生活支援について

[学生生活]

- ① 学生の人間的成長と自立を促し、学生主催行事の実施に向けて支援をする。
- ② 悩みを抱えた学生、学修不振者、障がいを持った学生について面接等で状況を把握し、その内容により、学事部学生生活、学生生活主幹、HR 担任、レッスン担当者、学生相談担当、看護師等と連携して支援を進める。
- ③ 合理的配慮への理解を醸成し、合理的配慮を必要とする学生への取組を各担当者との連携のもと行う。
- ④ 教職員が連携して指導・支援を行い、退学者及び休学者が出ないように努める。

[就職・進学サポート]

- ① 学生の多様性に対応しながら、キャリアサポート委員会、キャリア支援室、学生生活センター室長、教養・教職主事、ホームルーム担任等が連携し、一人ひとりのニーズにあった支援を行う。教職を目指す学生については、特に、教養・教職主事との連携を深める。
- ② 卒業後の進路決定を早めるために、1年次に進路希望調査を行い、3年次、4年次の全員面談の前に学生と進路について話せる機会を作る。日本学生支援機構奨学生（給付型、貸与型）には、特に早期から就業に対する意識を醸成する。
- ③ 就職した卒業生あるいは企業との接触機会を増やすことにより、就職活動の方法、就職試験対策等、就職活動をどのように進めるべきかを具体的に示す。また就職試験合格に必要な技能、筆記等のレベルをあげるために教員と連携する。
- ④ 大学院進学希望者、留学希望者に対しても、的確な情報を届けられるよう、教職協働関係を強化する。

3) 国内及び国際交流

[国内外の交流]

- ① 国内（外）のカトリック大学との連携・交流活動・事業を計画し、実行する。
- ② 学外における留学生支援イベント等での留学生の演奏活動を支援する。
- ③ ASEACCU 国際会議に学生を派遣する。

[国外交流協定校との交流事業]

- ① ブリュッセル王立音楽院（ベルギー）をはじめとする交流協定大学との対話の機会を増やし、交流事業を実現する。
- ② クリスマスコンサートの目的をアジアのイエズス会学校に対する支援として実現する。
- ③ コロナ後の状況を見極め、四川音楽学院（中国）またはフィリピンの大学等におけるマスタークラスレッスン・演奏会等を実施し、留学生獲得に努める。

4) 学生募集活動及び広報活動について

[学生募集活動について]

- ① 教職員からの志願者情報の収集を継続的に行う。高校訪問、出前授業、音楽指導者とのコンタクト、進学関連業者による高校内での進路ガイダンス、各種音楽セミナー、コンクール、演奏会、ネット媒体などから情報を収集し、募集活動に活用する。
- ② 2022年度より始めた大学広報代行業務の委託員（以下「エリアパートナー」）への積極的な働きかけにより、エリアパートナーとの連携をより深め具体的な動きに結びつける。また、新しい地域のエリアパートナーについても随時増員し、広範囲での継続的な学生募集業務を展開する。
- ③ オープンキャンパスを、夏（6月・7月・8月）、秋、翌春（スプリングフェスティバル）の予定で実施する。2024年度からの新たな入学試験制度に伴う「入学準備学習（副科ピアノ、楽典・ソルフェージュなど）」について周知徹底する。各専修専攻の教員と連携してオープンキャンパスのプログラムをより魅力的なものにし、幅広い年代の志願者を獲得する。
- ④ 県外での募集活動・募集企画は、地域ごとにメリハリをつけ、コンサート実施会場、従来型の進学ガイダンス実施会場、出前授業・出前レッスンを軸にアプローチする地域を設定する。各地の音楽系部活動強豪校、音楽科・音楽コース設置校での出前授業・出前レッスンを積極的に提案し、実施する。
- ⑤ 受験生等の要望に応じて、学内見学、ホール体験、進学相談（対面及びリモート）を随時通年で対応する。
- ⑥ 各地の同窓会との連携を深め、地域の情報をより深く数多く収集する。

[広報活動について]

- ① 広報誌（大学案内、エリザベトアイ他）の制作と配布、各種 SNS（Facebook、LINE@、インスタグラム）及び大学 WEB サイトでの情報発信により、継続的に大学の魅力を伝える。
- ② 学内関係者への大学案内及び入学試験説明会は前年より一月前倒して4月に行う。
- ③ 学生募集につながる外部団体（広島県合唱連盟、全日本ピアノ指導者協会、全日本吹奏楽連盟他）との関係強化により大学の魅力発信と情報収集を図る。

- ④ 広島県・市、東広島市、教育ネットワーク中国等各種団体の主催イベントに協力する（県立美術館コンサート、市役所コンサート、シヤレオ大学生コンサート他）。
- ⑤ 在学生と連携した情報発信の取組として、エリザベト音楽大学 PR 動画コンテストを実施する。キャンパスリポーター他学生による大学情報の発信を支援する。

5) 教職員研修(SD・FD)について

- ① 本年度は第3期認証評価受審（2024年）が研修の中心となり、その対応のための研修を適宜実施する。自己点検評価書の内容把握を専任教職員全員で行う。
- ② 教職員を研修会等（オンライン研修を含む）へ積極的に参加させ、そのフィードバックを共有することにより研修の成果を多くの教職員の業務に生かす。

6) 演奏活動

- ① 創立75周年記念事業終了後も、引き続き教職員及び学生一致して各種演奏会の成功を目指す。
- ② 専任教員がソリストを務める広響との協演演奏会は継続するが、開催時期を検討して実施する。

【2024年度エリザベト音楽大学コンサートスケジュール】

日程	演奏会名・行事名・会場・出演者
6/7（金）	エリザベト音楽大学コンサートシリーズ I（セシリアホール） 「スピリチュアルコンサート」 共催：（公社）日本産業退職者協会広島支部（予定） 小蔦寛二（専任講師、ピアノ）、升島唯博（専任講師、声楽）
10/26（土）	第83回定期演奏会（セシリアホール） ピアノ協奏曲（2曲対象、オーディションにて決定） チャイコフスキー：交響曲 第6番 口短調 作品74『悲愴』ほか。 ピアノソロ：オーディションによる選抜学生 指揮：井田勝大 演奏：エリザベト音楽大学交響楽団
12/7（土）	チャリティークリスマスコンサート（セシリアホール） 前半 合唱中心のプログラム、後半 オーケストラと合唱による演目。 指揮：寺沢 希 ほか 演奏：エリザベト音楽大学合唱団・交響楽団 合唱委嘱作品披露（作曲家・本学講師：三宅悠太）
12/13（金）	エリザベト音楽大学コンサートシリーズ II（セシリアホール予定） ヤン・イラーチェク・フォン・アルニン（客員教授、ピアノ）

※その他大学院新人演奏会、卒業研究発表・演奏会、エスポワール新人演奏会他を予定。

(3) 管理面の計画

1) 施設設備改修と建物長期計画について

- ① 建物の長期更新計画に基づき計画的な施設設備改修する。

2) 委託業務(清掃、寮管理、西条管理、その他)について

- ① 業務内容の検証及び再検討を継続して行う。

3) 西条キャンパスの将来計画(土地、建物、設備)について

- ① 西条キャンパスのなお一層の活用を図り、在り方については、幟町キャンパス校舎建替と合わせて検討する。

4) 女子学生寮(セシリアホーム)の管理運営について

- ① 「学生寮セシリアホーム規則」に則り安心・安全な寮生活について徹底するとともに、実態の確認を行いながら改善点を見つけ、指導を徹底して、寮生活の質の向上を図る。
- ② 委託業者による寮監との連携を行うことにより、寮生活全体の充実を図る。
- ③ 寮食の食べ残し等の無駄が生じないように、寮生を指導すると同時に寮食の注文方法を検討する。

5) 付属音楽園・エクステンションセンター事業について

- ① 体験会の開催、園生演奏会等をとおして、園生を増やす取組を継続する。
- ② 新園長及び副園長の就任とともに、音楽園と大学の連携を深め、大学に入学する園生を増やす道筋を構築する。
- ③ 教員による依頼講座を含め、受講生が見込めるエクステンションセンター講座を企画する。

6) 財務について

- ① 1号館(セシリアホール)及び本館の建替(あるいは大規模改修)に備え、基本金積立の原資の確保に努める。
- ② 経常収支差額の確保のため、教育活動収支における赤字の削減を図る。

以上